

未来を見据えて—— 国立病院機構の新たなビジョン ～挑戦と展望、新たな一歩を共に～

理事長 **新木 一弘** あらき かずひろ

PROFILE

1985年 3月 慶應義塾大学 医学部 卒業
1985年 4月 厚生省 入省
2001年 7月 厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室長
2003年 8月 広島県 福祉保健部長
2006年 9月 厚生労働省 医政局研究開発振興課長
2008年 7月 文部科学省 高等教育局医学教育課長
2011年 7月 社会保険診療報酬支払基金審議役
2012年 8月 厚生労働省大臣官房付
2012年 9月 南魚沼市立 ゆきぐに大和病院 院長
2013年 4月 福島県立医科大学 客員教授
2016年 4月 慶應義塾大学 医学部 特任教授
2017年 4月 国立病院機構 東京医療センター 副院長
2020年 4月 国立病院機構 東京医療センター 院長
2020年 4月 国立病院機構 理事(非常勤)



NHO 新たな時代へ

この度、令和6年4月より国立病院機構の理事長を拝命いたしました、新木一弘です。国立病院機構は全国に140の病院を有し、総病床数は5万床を超える日本最大の病院組織です。独立行政法人として効率的かつ自律的な運営を行い、医師・看護師をはじめとする全職員の努力により、社会の期待に応え続けてまいりました。

NHO 目指す方向性

国立病院機構は、診療、調査・研究、教育研修を行うことが法律で定められています。これらの機能を安定的に、かつ継続的に向上さ

せることが最大の課題です。特にコロナ後の厳しい状況においても、これらの分野を育て続ける必要があります。私の就任時に掲げた4つの目標の一つは、国の医療政策に貢献し、国民の信頼に応えることです。具体的には、コロナ対策、感染症対応、災害対策、医療DXなど、多様な要請に応えることが重要です。また、地域医療への貢献も大きな役割です。地域医療を中心に据えながら、国の期待に応えられる機能を発揮し、人材の確保と育成、臨床研究の充実を図っていきます。

NHO 医師の働き方改革

令和5年度からは、新たな勤務時間管理方法の導入・運用を開始しました。客観的な記録に基づく新たな勤務時間管理方法を実施するため、モデル病院における検証及び課題等を踏まえ、ICカード・ICカードリーダーを利用した勤務時間管理を適正に実施しています。各病院の勤務時間システムを

HOSPnet・人事給与システムへ自動連携させることにより、本部において各病院の勤務時間関連データが集積可能となり、病院への個別調査を削減させるなど業務の効率化を図りました。

NHO 教育・研修体制の強化

国立病院機構では、医師の教育・育成にも力を入れています。地域の中核病院として多彩な医療体験ができる環境を提供し、質の高い医療従事者の育成を推進しています。特にセーフティネット分野において、一般の病院では経験できない医療体験を提供し、未来の日本の医療を支える人材の育成に貢献しています。研修医の皆さんに



は、さまざまな病院での特徴的な研修が可能であり、都市部の急性期病院から地方の医療機関まで、多様な環境での研修が提供されています。

NHO 未来を担う医師への期待

最後に、国立病院機構に勤務する臨床研修医・専攻医の皆さんにお伝えしたいことがあります。国立病院機構では、多彩な診療活動を行っており、若い先生方にとって充実した研修ができる環境を提供しています。研修医の皆さんには、知識や技術の習得だけでなく、人間力も大切に、患者さんやご家族との信頼関係を築き、説明責任を果たすことを忘れずに努めてください。皆さんが将来の日本の医療を支える主役となり、その能力を存分に発揮し、大いに活躍されることを期待しています。

国立病院機構の未来を共に築いていくために、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



BACK NUMBER × バックナンバー

過去の「NHO NEW WAVE」が
WEB サイトから閲覧できます！

https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html

NHO ニューウェーブ 検索



NHO

facebook & X

本部公式アカウント

facebook

<https://www.facebook.com/nho.headoffice>



https://twitter.com/nho_headoffice



本部のSNSで発信したい情報があれば広報係までご相談ください！